



(土山町野上野) 福田 悠也さん

60

音楽を天職として

サントピア水口勤労青少年ホームを拠点に活動するロックバンド鼠鳴燃(しょうねん)。リーダーでベースギター担当の福田悠也さんは、現在音楽のプロを育てる専門学校に通う22才。4日に行われる「サントピアミュージックフェスタ」が彼にとって学生生活最後のライブとなります。リハーサルに余念のない福田さんを訪ねました。

ー3月4日のライブまであと少しですが

学生生活最後のライブなので思い切り演奏したいです。

ーバンドを始めたきっかけは

中学3年生のとき、かつてここを拠点に活躍されていた「アストログラフ」の前身バンドに憧れて、部活仲間とバンドを組みました。

ーバンドをやっていて楽しいと思うことは

やっぱり作詞作曲は楽しいです。

伝えたいことや言葉にできない感情を全部、歌詞や曲として表すことができるのですから。またライブをすれば、演奏を通して何かを感じてくれたり、直感的に好きだと思ってくれる方がいます。一緒に出演するバンドもいますし、そういった人との出会いや交流が何よりの楽しみです。

ー就職後のバンドを含めた音楽活動の予定は

就職後もバンドのメンバーは市内に残っていますので、時間を見つけて続けていきたいです。

個人としては、音楽関係の会社に就職しますので仕事として大好きな音楽に関わり続けていけることに喜びを感じています。いつかは音楽プロデューサー

にという夢もあります。音楽は私にとって天職です。



練習にも熱がこもるメンバー



親子食育講座

甲南かえで会館で親子食育講座が2月13日開催され、幼児の親子12組が参加しました。この講座は、毎日の食をテーマに、親子でいっしょに食べる楽しさと大切さにふれる目的で年3回開催されています。今回参加者は自家製のみそ作り挑戦、あらかじめ煮ておいた豆をつぶす「大豆つぶし」から、豆と「つじ」を混ぜ合わせ、ゆで汁を加えたものを丸める「みそ玉」づくりまで、本格的な工程を親子で協力しながら行いました。作ったみそ玉は容器に詰め持ち帰り、6ヶ月熟成させると自家製みそが完成します。参加した田中華子さんは「子どもと作った味噌で味噌汁を作って一緒に食べたいです」と出来上がりを楽しみにしていました。



みそ玉をつくる親子

親子で一緒に楽しくみそ作り

心の扉、開けてみませんか あと少し

甲賀市人権教育連続セミナー

市では、さまざまな人権課題について学習する機会を市民の皆さんに提供するため、「人権教育連続セミナー」を市内各地で開催しています。

土山開発センターで2月10日、14回目が開催され、65名が参加、講師におはなしキャラバン隊「言夢(ことむ)」を迎え、絵本「さっちゃんのみまほうのて」をはじめ「いのち」を題材にした朗読劇3本が上演されました。

参加者は、劇を観賞しながら、いのちの大切さ、尊さについて学習しました。



元気なまちかど

安全な自転車の乗り方を学ぶ

伴谷小学校6年生を対象にした交通安全教室が2月1日、同校の運動場で開かれました。

中学校へは全員自転車通学になるため、自転車の安全な乗り方や、点検方法について学ぶ目的で開催されました。

児童たちは、甲賀警察署員や自転車組合の方から、自転車を運転する上での注意点や、点検の方法などを真剣な表情で聞いていました。

また、スタントによる自転車と自動車との衝突事故の再現を間近で体験し、児童らは「事故の怖さがよくわかった」「自転車で乗る時は必ずヘルメットをかぶり、周りに注意しながら運転したいです」と感想を語っていました。



警察署員から、交差点での正しい横断指導を受ける児童

昨年、甲賀管内で中学生による自転車の事故は60件発生しています。自転車に乗る時は交通ルールを守り安全運転を心がけてください。

甲賀市スポーツ少年団交流大会

甲賀市スポーツ少年団交流大会が1月28日、信楽体育館で行われ、市内のスポーツ少年団37団体から6年生の団員200名が集まり、親睦を深めました。市内のスポーツ少年団相互交流と親睦を目的に毎年開催されているこの大会に、団員は、20の班に分かれ、ジャンケン進化ゲームやフラフープを使ったりリレーなどをして楽しく過ごしました。お昼には、役員、保護者らが用意した「忍者なべ」に舌鼓を打ち、試合ではライバル同士の団員らもこの日は終始仲良く友情の輪を広げていました。



フラフープリレーを楽しむ団員ら

おばあちゃんといっしょ 楽しいな

信楽子育て支援センターで2月8日、「いじい&ばあばと遊ぼうひろば」が開催され、近くに住む未就園児と祖父母8組17名が参加し、小物入れづくりや、歌を唄ったりして楽しいひと時を過ごしました。



小物入れを作る参加者

同支援センターが月一回祖父母と未就園児同士の交流の場として行っており、孫と参加した奥田静子さんは「同じように孫の世話をされている方と交流できることが楽しいです」と月1回の広場を楽しみにされています。

市内の子育て支援センターでは、この他にも未就園児家庭の子育てをサポートする事業を行っています。詳しい内容は広報あいこうか15日号をご覧ください。